

■団体紹介■だんたいしょうかい■

演奏団体 邦楽グループ「玉手箱」

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸術大学出身者の優秀な若手演奏家を集めて従来の邦楽界の枠を超えて、新しい日本の邦楽を世界に、そして日本の若い人たちに広めようと結成されました。かたくるしいイメージのある邦楽に、もっと気軽に親しんでもらいたいと、学校でのワークショップや音楽鑑賞会にも取り組んできました。

●演奏者紹介●えんそうしやししょうかい●

清野 さおり (三味線、箏)

東京芸術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。文化庁新進芸術家国内研修員。北海道三曲コンクール児童の部第一位。同コンクール新曲の部第一位。NHKオーディション合格。第4回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞。NHK-Eテレ「古典芸能鑑賞会」FM「邦楽のひととき」多数出演。第25回若い芽のαコンサート、ソリストとして千葉フィルハーモニーと共演。千葉県芸術家「アーティストソムリエ」に選出。邦楽グループ「玉手箱」代表。平成14年より全国の小中学校、特別支援学校でワークショップと巡回公演実施。

ながす とまか び わ 長須 与佳 (琵琶)

琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に、薩摩琵琶を坂田美子師に師事。NHK邦楽技能者育成会修了。東京芸術大学卒業。第9回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞受賞。小椋佳、石川さゆり公演に琵琶師として出演。2004年コロンビアよりCDデビュー。

清野 樹盟 (尺八)

1987年北海道三曲コンクール尺八の部第一位。96年東京芸術大学邦楽科卒業。在学中、琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に師事。2002年カナダ、アメリカ、スペインにて演奏。2004年尺八独演会開催。現在、NHK文化センター尺八講師。吉幾三、香西かおり公演に尺八奏者として出演。国立劇場「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」に出演。

小間 夕起子 (十七弦、箏)

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業 (専攻山田流箏曲)。NHK邦楽技能者育成会第42期修了。河東節三味線を故山彦さわ子師に師事、「山彦夕起」の名を許される。第10回長谷校校記念全国邦楽コンクール優秀賞受賞。2003～2016年、朝日カルチャーセンター東京校 山田流箏曲講師。2010年より「小間夕起子 山田流箏曲コンサートシリーズ」を開始、現在までに6回のコンサートを行う。NHK-FM放送・スカパーなど出演。演奏会や舞台音楽制作、レセプション等で演奏活動を行う。

山本 啓代 (三味線、箏)

山本邦山(尺八・人間国宝)二代山本雅楽邦(箏曲)の長女として生まれ、幼少より母に箏曲を師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。箏曲家沢井忠夫氏に師事。韓国ソウル国音院アジアミュージック祭、日本ウクライナ芸術文化祭、アメリカ(カーネギーホール)日本の祭典などに出演。FM東京、NHK「いろはに邦楽」、京都南座の市川猿之助公演「黒塚」に出演。CD「山本邦山尺八の魅力」録音。平和堂財団奨励賞受賞。正派邦楽会大師範(雅号・雅萃)。

制作団体 ■株式会社アート・メディア・オフィス

知ってますか? ~ 10月1日は「国際音楽の日」です。~ 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-

邦楽公演 邦楽グループ「玉手箱」

魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

「日本の音を求めて」~古典から現代への伝統~



「文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

プログラム

1. 六段調 (ろくだんのしらべ) 合奏●箏 三味線 尺八 (三曲合奏)

江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。箏と三味線と尺八の合奏で三曲合奏曲と呼ばれています。

2. 鹿の遠音 (しかのとおね) 独奏●尺八

ふるくから伝わる尺八本曲の名曲です。秋の山に鳴き交わす二頭の鹿の様子を描写したものとされています。

3. 祇園精舎 (ぎおんしょうじゃ) 独奏●琵琶

「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり」の琵琶の弾き語りで有名な「平家物語」の始まりの部分です。盲目の琵琶法師によって語りつがれてきました。

4. 春の海 (はるのうみ) 二重奏●箏 尺八

十七弦の考案者、宮城道雄の作曲です。お正月には必ず流れて来る曲です。

5. 雪ものがたり 合奏●箏 十七弦 尺八 朗読

現代作曲家沢井忠夫の邦楽の新しい曲です。岸田今日子の脚色で朗読がついています。うつくしい日本語と和楽器の響きが調和している音楽物語です。

6. さくら 児童生徒参加合奏●箏 十七弦 尺八 琵琶

日本古謡。江戸時代から伝わる曲に明治時代に歌詞が付けられました。今もさまざまな音楽に取り入れられて、世界的に知られるようになりました。

7. ワールド・トリップ! 合奏●箏 三味線 十七弦 尺八 琵琶

「森へ行きましょう」「フニクリ・フニクラ」など、和楽器で世界の民謡を演奏します。

■演奏のあいだに、楽器のかいせつ、体験コーナーがあります。

●和楽器のおはなし●

奈良時代のころ中国から伝わって、その後日本で独自に発達した古くから伝わる楽器を和楽器といいます。私たちは、普段は西洋音楽になれ親しんでいます、日本の伝統的な行事、お正月、お祭り、結婚式などでは、必ず和楽器の音楽を聴くことができます。日本の自然と人々の生活から生まれた日本の楽器がどんな音をだすのか、どんな音楽を届けてくれるのか、見て、聴いて、触って、楽しみましょう。きっと、古いものから新しい発見があるでしょう。

●楽器かいせつ●



●箏● (こと、または、そう)
箏は、弦をはじいてならず弦楽器です。弦は13本で、それぞれに「柱(じ)」を立てて指にはめた「爪(つめ)」で弾きます。現代の合奏では、17本の弦のやや大きめで低音が出る「十七弦」も演奏されます。琴(きん、こと)は、箏とは違い、七本の弦で「柱」もありません。



●三味線● (しゃみせん)
三味線は、バチで3本の弦をはじいて弾く弦楽器です。胴体には猫や犬の皮がはってあり、音がよくひびくように作られています。やはり中国から沖縄をへて、織田信長のころに日本に伝わりました。持ち運びに便利なので、江戸時代には、たくさんの方が演奏して楽しみました。



●琵琶● (びわ)
楕円形の胴体に上の方が曲がった棹がつき、4本の弦をバチで弾く弦楽器です。ペルシャ(今のイラン)で生まれ、奈良時代に日本に伝わりました。奈良の正倉院には、インドの琵琶が保存されています。日本では「平家物語」を琵琶の伴奏で語る(うたう)「平曲」が有名です。



●尺八● (しゃくはち)
表に4つ、裏に1つの穴がある竹でできた管楽器です。昔の長さの単位で、竹の長さが1尺八寸(約55センチ)のところから「尺八」と名づけられました。リコーダーのように簡単に吹いて音をだすことはできません。正しい指導でコツをつかめば、和楽器の魅力に触れることができます。